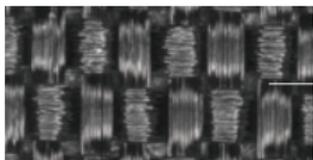


— 織物の三原組織

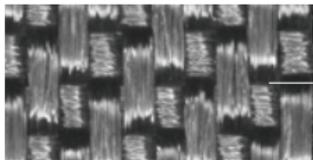
織物とは、たて糸とよこ糸を直角に組み合わせて作った生地のことです。

基本となるたて糸とよこ糸の組み合わせ方は、次の3つでこれを織物の三原組織と呼んでいます。



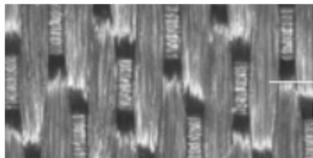
Taffeta / 平織 (タフタ)

たて糸とよこ糸を交互に交錯して織った、最も簡単な組織です。薄くて最もコシがあり、組織として丈夫です。この組織に糸の太さ、ヨリの強さ、染色整理加工などを組み合わせて、多品種の裏地が作られています。



Twill / 綾織 (ツイル)

たて糸(またはよこ糸)の浮いた点が表面に斜線になってあらわれるので、斜文織ともいわれます。



Satin / 朱子織 (サテン)

たて糸(またはよこ糸)を長く表面に出し、その組織点が連続しないように分散させています。一見したところたて糸(またはよこ糸)だけでできているように見えます。表面がなめらかで光沢があります。

三原組織をベースにした以下のような織物があります。



ジョーゼット georgette

たて糸よこ糸にS撚およびZ撚の強撚糸を2本づつ交互に使用して、シボをはきり出した、比較的密度の粗い清涼感のある薄地平織物です。



デシン crepe de Chine

よこ糸に強い撚りをかけた平織物。表面に現れたシボに特徴があります。



シャンタン shantung

よこ糸に節糸(スラブ糸やネップ糸など)を用いた平織物です。



ローン lawn

たて糸に長繊維、もしくは短繊維、よこ糸に短繊維を用いたコットンタッチの平織の生地です。



シャー sheer

たて糸よこ糸に強撚糸を用いたものと、たて糸だけに強撚糸を用いたものの2種類があります。密度が粗でジョーゼットよりもシボが目立たない。平織物で清涼感があり主に春夏用に使われています。



羽二重 habutae

タフタの中でも特に薄地で軽目のものを羽二重といいます。

編み物(ニット)とは、糸の作るループを連続して作った生地のことです。編物はたて編とよこ編に分類されます。

たて編の基本組織

たて編とは、織機と同様に多数のたて糸を整経し、それらのループに他のたて糸のループを規則的に連結して、縦方向(生地の長さ方向)に編成していくのが特徴です。代表的なたて編機にはトリコット編機、ラッセル編機があります。



Single Denbiegh / シングルデンビー編み

シングルトリコット編みともいい、左右交互に移動しながら縦方向に編まれた生地です。出来上がった生地は薄く、端はまくれやすくなります。



Single Code / シングルコード編み

コード編みともいい、左右交互に針を一つ飛ばしながら、縦方向に移動して編まれた生地です。出来上がった生地は厚く、畝状の外観、滑らかな風合い、光沢感があります。

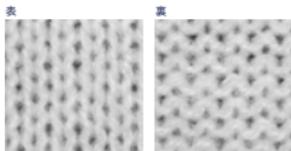


Single Atlas / シングルアトラス編み

同方向に数回編んだ後、逆方向に同じ数だけ編みながら縦方向に編まれた生地です。ジグザグ状の外観を有し、比較的伸びやすい生地になります。

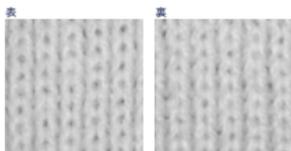
よこ編の基本組織

よこ編とは、1本の糸によって編成された生地(実際の工業用編み機においては能率を上げるため複数の給糸口よりよこ糸を同時に投入するのが一般的)、横方向に連続的なループを形成することにより、一段ずつ編まれた生地です。目減らし、目増やしの操作により成型が可能なことと、編み地から糸をほぐすことができるのが特徴で、手編みや丸編みはよこ編に分類されます。



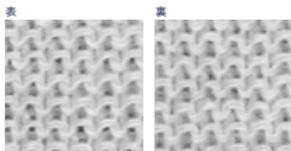
Plain / 平編み

天竺、シングルニットともいい、編み地裏表の外観が異なる生地です。縦方向よりも横方向の方が伸びやすく、薄くて軽いのが特徴です。



Rib / ゴム編み

リップ編み、フライス編み、畦編みともいいます。平編みの表面と裏面が編み地の横方向に交互に配列されるため、編み地の裏表の外観が同じ生地です。耳まくれがなく、横方向に伸びが大きいのが特徴です。



Purl / パール編み

両頭編み、リンクスともいい、ゴム編みと同様に編み地の裏表の外観が同じです。耳まくれがなく、縦方向の弾力性に優れている生地です。